

芝雄会主催 第6回成人式 実施報告書

2015年5月9日 代表幹事一同

0. 実施概要

2015年3月14日(土) 板橋校舎にて

14:30受付開始 15:00第1部開始 16:00第2部開始

第1部、第2部いずれも参加費無料で実施した。

対象学年は第59回生(2013年3月卒業)

参加者数(一次会)は、成人学年111名、他数名。

代表幹事は、武永翔(統括)、平山義活(主にデザイン担当)、藤田鋭志(主に機材担当)の3名。

1. 準備・事務作業

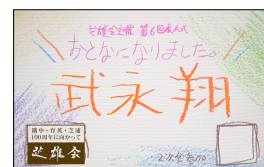
1.1. 予算使徒にあたって

本年度は新企画として、ゲストを招くことにしたため、昨年度決算(50万円)+15万円で収まるように心がけた。そのために「自分達でできることは外注しない」をコンセプトに掲げた。

1.2. 名札作成

名前のみ手書きのオリジナルのデザインで制作した。欠席予定者の分も含めて全員分を用意し、当日の急な出席にも対応できるようにした。普通紙に名札を印刷したものをラミネートし、シール付き安全ピンを貼り付けた。

名札に特殊なパンチで穴をあけることで、二次会への参加不参加及び会費の支払い有無を確認できるようなデザインとした。チケット作成及び配布の手間と費用の削減のためである。チケットでは財布に入らないために保管に困るが、名札に機能を兼ね備えることで管理が容易になり、紛失と偽造を防いだ。実際、当日紛失した人はいなかった。



1.3. 記念品

3種類のオリジナルデザインのアートブロックメモを記念品として用意した。成人のイメージとして挙げられる「飲酒解禁」をイメージし、ビール缶をモチーフとしたデザインにした。

梱包については、費用削減のため、クラフト紙を用いた紙袋を手作りで用意した。二次会を考慮し、荷物にならぬようジャストサイズで設計した。

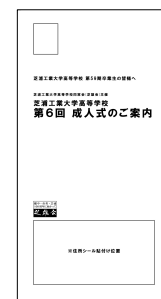


1.4. 広報活動

1.4.1. 案内状の送付

第1回 「成人式の案内」「講演コンサートの紹介」のA4サイズ2枚を長形3号の封筒へ入れて送付した。封筒はオリジナルのものを印刷会社へ発注した。封筒には差出人住所の印刷を忘れていたため、ハンコを押して対応した。封入および発送作業は代表幹事で行った。

案内状には、出欠アンケートを回答するためのWebサイトのURL及びQRコードを記載した。インターネット環境が普及した点、新成人の手を煩わせない点、返信はがきの費用がかからない点を考慮し、Web上でのアンケートを選択した。また、Webアンケートはリアルタイムで回答状況を確認できるので、未回答者への呼びかけがスムーズに行えた。



第2回 第1回で回答の無かった人へのみ、往復葉書で案内をした。印刷および発送は代表幹事で行った。

1.4.2. 個人的な呼びかけ

盛り上げてくれそうな人物を中心に、代表幹事から個人的に参加・周りへの勧誘を依頼した。これにより、あまり興味を持っていなかった新成人についても15名ほど誘うことができた。

1.5. ビンゴの準備

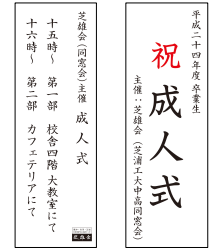
景品は合計50品程度を目安に選定した。ゲーム機やタブレットなどを目玉商品に用意した。景品選定にあたっては、実用性を重視した。インターネットと店頭購入を使い分けることで、品定めをしながらも費用の節約を図った。購入

後は学校にて保管していただいた。

ビンゴの人が景品を選ぶためのクジは、オリジナルデザインのものを用意した。市販のクジよりも安く、必要な番号のみ用意できるためだ。

1.6. 題字（立て看板）の作成

校門・校舎入口・カフェテリア入口に設置した。立て看板のボードサイズはW600×H1820mm。印刷は事前にPC室の情報分掌の方へ依頼をして行った。ジャストサイズの紙の用意が学校にはなかったものの予め点線を印刷し、余白を折り返して使用した。



1.7. 進行表の作成

講演コンサートの実施を基板にして行った。密にスケジュールを組んでしまい、一次会の進行が遅れたために二次会の開始時間が押してしまった。一次会の終了時刻が30分程度押す事を想定するべきであった。

2. 講演コンサートの実施

講演コンサートとは、講演の随所に歌を挟み、講演の内容を刺激的に伝えるものである。

2.1. 企画趣旨

事前に数名の新成人へ調査を行ったところ「ただ飲み食いするだけ」という印象が強く、参加に対して強く肯定した意見は多くなかった。そこで、「飲食を交えた歓談」以外の大きなイベントを行ってイメージを刷新したいという代表幹事の強い思いから、有名人をゲストに招くことを計画した。

今回は、芸人の松本人志さんのお兄さんであり、シンガーソングライターである松本隆博さんをお呼びした。成人式にあったテーマの講演をしてもらえることや、代表幹事の武永と繋がりがあり費用を抑えられることが、松本さんにお問い合わせの動機である。



2.2. 打ち合わせ

マネージャーと電話及びメールにて行った。機材担当の藤田が直接打ち合わせをすることは避け、連絡はすべて武永が一括して行った。そのために、会場づくりについて満足な意思疎通ができておらず、当日の機材変更が発生した。対面での打ち合わせをするべきであった。

2.3. 機材準備

企画実施にあたっては、音響・照明等の機材が必要であった。松本さん側に依頼することも可能であったが、その場合別途費用が発生（5万円程度）するため、学校及び藤田の所有している機材を使用した。

機材は、音楽部・ダンス同好会・芝生祭実行委員会・学校（PC室、体育館ほか）のそれぞれに貸出依頼を2月末に行った。貸出依頼の時期が遅く、備品管理担当の先生へ直接お願いができなかったところがあった。



2.4. 効果

「例年と違って面白いことをする」という触れ込みで声かけを行ったところ、興味を持ってくれた人が多かった。期待ほどの反応は得られなかったものの、結果としては「何かやるみたい」といった噂から、昨年よりも多くの新成人を集めることができたと思う。

当日、ステージ脇から会場の様子を確認したが、聞き入っている新成人が多かった。また、出席した新成人20名程度に講演コンサートに関してヒアリング調査を行ったところ、概ね好評を頂いた。中には「お説教のようだ」という意見もあったが、内容を理解して気に留めている様子であり、教育的効果としても十分であったと言える。



2.5. ゲストへのケータリングの準備

当日、お茶と水を3本ずつと、お菓子を少々用意した。事前準備をしておらず、当日あわてて用意をした。ゲストをお呼びする際の注意点を事前にインターネットなどで調査しておくべきであった。

3. 前日・当日準備

3.1. 準備時間

前日は休講日であったため、13時半から19時まで行うことができた。第1部の会場設営を行った。

当日は10時から準備を行った。第1部のための音響チューニングと平行して、第2部の会場設営および題字の掲示を行った。

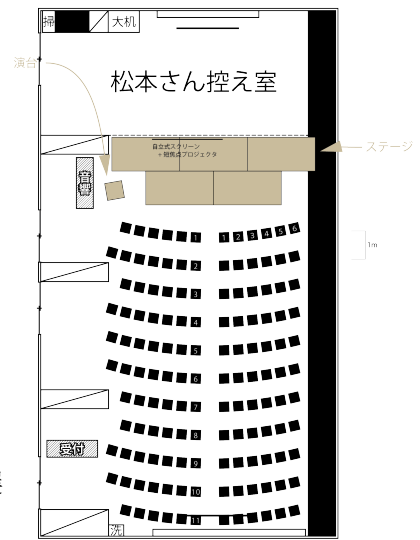
3.2. 第1部 会場設営

大教室にて、講演コンサート向けの会場づくりを行った。可動式パーティションで教室北側1/4を区切り、ゲスト控室とした。会場は北側のパーティションを前方とすることで、在校時の学年集会とは違った雰囲気を演出した。また白いパーティションをバックにすることで、光の演出を映えさせることができた。

座席は、1列12人（真ん中に通路）×11列準備した。列はやや湾曲させ、また偶数列と奇数列で横位置をずらすことで、舞台を見やすいようにした。

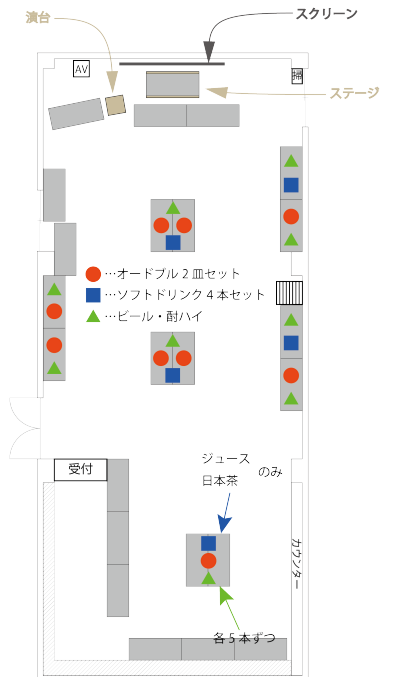
舞台は、体育館より簡易ステージを5枚運び設置した。エレベータに載るサイズであるが、渡り廊下の階段の上げ下げは3人を要した。また、体育館より木製の台も拝借し、登壇用の踏み台とした。なお、司会者用の演台のみ大教室のものを利用した。

受付は教室南側の入口付近に設置した。受付が必要であることを新成人に伝えておらず、開演前に未受付のまま廊下で話している新成人がいた。これにより開始時間が遅れてしまった。



3.3. 第2部 会場設営

会場の構成は例年同様であるが、今年は前方スクリーン前に、体育館より簡易ステージを1枚用意した。会長あいさつや乾杯の音頭を後方からもわかりやすくすること、ビンゴ大会の景品の中でも目玉商品を目立たせることが目的である。



4. 実施概要

4.1. 第1部

大教室にて、校長あいさつ及び講演コンサートを実施した。

音響・映像オペレータは藤田及び松本さんのマネージャー、司会進行は平山が行った。松本さんのコーディネートは武永が担当した。照明の入切操作と受付業務は、成人学年より下の学年にお願いをした。受付では、出欠確認・名札配布・二次会受付(集金)を行った。開式前の受付については、成人学年が行ったほうがスムーズであった。

4.2. 第2部

カフェテリアにて、再会の場を設けた。会長あいさつ及び歓談とビンゴ大会を行った。

受付業務は、成人学年より下の学年にお願いをした。第1部に参加していない新成人への対応と、ビンゴカードの配布を行った。

4.2.1. ビンゴ大会

くじの操作は行わなかったが、目玉商品が終盤まで残った為、最後まで盛り上がっていた。司会は幹事ではなく、盛り上げ役の新成人に事前をお願いをした。番号抽選用のスライドの動作確認を本番の環境で行わなかったため、使用したパソコンの予想外な処理能力不足のために手間がかかった。



4.2.2. ケータリング

例年通り、エスアイテック板橋営業所(学校売店)を通じて、カフェテリアより提供していただいた。昨年は残飯が多かったため、食べ物に関しては食事系をおつまみ系に変更し、飲み物についても削減をした。食事は丁度良かったが、飲料は今回も残ってしまった。



5. 後片付け

1部については藤田が仕切り、成人学年以外の常任幹事が行った。そのため藤田は第2部には参加することができなかったものの、2部終了前には1部の片付けを終えることができた。なお、机椅子の現状復帰については、学校の清掃業者に依頼をしたため、幹事では行ってない。2部については成人学年以外の常任幹事のみで行い、式終了後30分程度で終えることができた。

簡易ステージの片付けについて、常任幹事へ事前に作業内容の通達を行っていなかったため、動きづらい服装のために作業に支障がでてしまった。今回は全幹事にスーツで参加して頂いたが、成人学年より上の代の幹事については、私服で来ていただいたほうがよかった。また、軍手の用意もあるとよかった。

6. 二次会の実施について

6.1. 二次会場の選定

実施地域は、参加者の交通の便・学校からの近さを考え池袋に設定した。駅前でダーツを楽しめるお店という事で会場を選定した。

6.2. 店舗との打ち合わせ

11月に第1回を行い、仮押さえをしてもらった。貸切での予約をお願いするため、早めに打ち合わせを行った。実施の2週間前に第2回を行い、料理・時間・参加人数・催しなどの詳細を詰めた。

6.3. 実施概要

会費2000円。参加者数は、成人学年61名と教諭4名。教諭については会費無料にて参加をお願いした。

池袋西口にあるダーツバーを利用。ダーツを投げながら歓談できる場を選んだ。6種類のコース料理+飲み放題に加えて、6段のシャンパンタワーとローストビーフブロック1kgを目玉品として用意していただいた。成年/未成年の区別を明確に行い、未成年飲酒は確実に厳格なお店であった。そのために、開催日時点で未成年の新成人およびその周辺の出席状況が芳しくなかった。

ローストビーフやシャンパンタワーの用意や教諭への参加依頼などは、個別で行われていた二次会との差別化を図るためにおこなったものの、魅力を感じないといった意見もあり、昨年(80名程度)ほどの集客はできなかった。



7. 会計報告

7.1. 費用削減度

段落	品目	予想費用	実費用	削減費用	備考	
1.2.	二次会用チケット	¥500	¥0	¥500		
1.3.	記念品用紙袋	¥65,000	¥2,592	¥62,408	発注の場合最小ロット500枚～	
1.4.1.	第1回出欠確認	¥17,680	¥0	¥17,680	往復葉書で回収する場合と比較して算出	
1.5.	一次会第2部ビンゴ用くじ	¥100	¥0	¥100		
2.3.	講演コンサート用機材	¥50,000	¥0	¥50,000	業者からのレンタル費用と比較して算出	
4.2.2.	一次会第2部 飲食費用	料理	¥162,000	¥72,800	¥89,200	1人分の飲食物を昨年度と同量として算出
		飲み物	¥79,500	¥55,800	¥23,700	
		その他	¥22,500	¥3,200	¥19,300	
総額		¥397,280	¥134,392	¥263,888		

7.2. 収支報告

一次会	本年度収入(予算)	¥650,000	(※前年比 ±¥0)
	本年度支出	¥560,469	(※前年比 +¥62,380)
二次会	本年度収入	¥346,000	
	本年度支出	¥300,000	
	残金	¥ 46,000	
	※ 残金は平成26年度芝雄会の臨時収入となりました。		